

VISTA 1 ユーザーレポート

日本大学芸術学部 様

Vista 1-32F



テレビスタジオ 2 に Vista 1 を導入



日本大学芸術学部
放送学科
糀 美由紀

はじめに

日本大学芸術学部は、2010 年度に校舎の全面的な建て替えを実施し、今日に至ります。建て替えにより放送学科は、実習授業で使用する設備を新設しました。主要な設備はテレビスタジオが 2 室、録音スタジオ 4 室、ビデオ編集室 4 室などです。新設にあたり、機材もほぼ全て新規としましたが、テレビスタジオ 2 は従来の機材で運用してきました。ミキシングコンソールは、旧スタジオから移設したスチューダー社の 963 アナログコンソールでした。

今回の更新にあたり、機種選定のため同程度の規模、及び価格帯の数機種と比較し、様々な検討をした結果、スチューダー社 VISTA 1 を導入することにいたしました。

選定にあたって

本学の設備は実際の放送の仕様ではなく、あくまで学生の実習を目的としたものです。実習である以上、その授業効果などを考慮すると実際の業務に広く使用されている機材であることが求められます。言うまでもなく、ス

チューダー社の製品は業界では広く浸透しており、我々の要望を十分に満たしているといえます。また、その操作性は学生にとって理解しやすいものでなければなりません。本機の利点は VISTA シリーズコンソールの特徴でもある Vistonics 画面の優れた操作性にあります。現代の学生はタブレット PC やスマートフォンでの操作が当たり前になっていますので、このビジュアルフィードバックは彼らにとって必要不可欠な機能といえます。

加えてアナログコンソールのような操作性は、音声信号の流れを理解するといった音声卓の基本概念を学ぶ上で視覚的にもわかりやすく、指導を容易にすることにも役立っています。また、学科内の他のスタジオでは D950 や VISTA 7 を運用中なので、共通の操作が可能な本機にも短期間のうちに慣れ親しんでくれると期待しています。

ステージボックスを導入

今回の導入にあたり、スタジオフロア側にはオプションのステージボックスを追加しました。スタジオ以外で行われる、学内行事の収録を中継で行う際に本機を使用することを考慮したものです。ボックスを現場に移動しカメラケーブル一本で接続できるので、ケーブル布

線が容易になりました。ボックス側に HA があるので、ノイズの問題も軽減します。ゲインはコンソール側でコントロールできます。すでにジープケーブルなどにもカメラケーブルを使用する機材を導入済みなので、ケーブル類の効率的な運用にも役立っています。

VISTA1 には国内初、拡張ボードにはデュアル MADI ボードを搭載しています。ステージボックスの運用だけでなく、スタジオ間での MADI ネットワークの構築が可能になりました。また、VISTA MIX によるオートミキシング機能など最新の機能も体験できます。

最後に

VISTA 1 は可搬型ですが、これに合わせたデスクを特注した結果、周辺機器も含めて一体化したコンソールとなりました。デスクの明るい配色も相まって、全体としてかなりスッキリしたデザインとなり大変満足しています。

最後になりましたが、導入にあたりご協力いただいた、スチューダー・ジャパン・ブロードキャスト様、テクト様、日本音響エンジニアリング様に感謝申し上げます。